（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフりーふぷらす支援教室			
○保護者評価実施期間	令和8年6月1日	～	令和8年6月30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	2
○従業者評価実施期間	令和8年6月1日	～	令和8年6月30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育のため、お子様に対してきめ細やかな支援を行うことが出来ている。	マンツーマンの個別療育を実施しているため、お子様一人一人の様子に合わせて療育を準備し実施できている。	年齢が近いお子様を同じクラスにして、少人数での活動も実施している。
2	経験5年以上のスタッフが多数在籍しており、就学後のことを見据えて保護者様にアドバイスができる。	年長になると就学後の生活を見据えた放課後デイとの関わりや保護者様へのアドバイスを実施している。	今後、保護者様同士の関わりを促進して情報交換などのお手伝いができるよう計画を立てていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士のつながりへの支援	個別療育のため、保護者様同士で会う機会がもてず、交流会などの企画が近年できていない。	どのような内容なら参加したいかのニーズ把握。 会場にて直接交流できるのが望ましいが、一部オンライン参加など検討。
2	非常時の対応への情報提供不足	利用契約時に非常災害対策についてご案内はしているが、継続してお知らせができていない。	通信やＳＮＳなどを利用して、非常災害対策や避難訓練の様子を継続してお伝えしていく必要がある。
3	外部連携全般（連携先、地域等）	自事業所のみで完結してしまっている取り組みが多い。	セルフプランの方が多いので、お困りごとやニーズに対してのヒヤリングを継続して行っていく。 外出支援の機会が少ないので今後増やしていけるよう計画していく。